

鉄道ピクトリアル

2021年1月号 Vol.71 No.1 通巻No.981

(特集)電車急行

■表紙 富士山麓を行く165系急行「ごてんば」……………太田 正行
山北—東山北 1976-12-1

■グラフ

電車急行 その栄華と凋落 (1~8ページ)

星 晃・阿部一正・辻阪昭浩・伊藤 昭
吉田修平・太田正行・渡邊裕太郎・浜村正弘
関根敏男・三浦 衛・石原裕紀・藤木正成
佐藤利生・大高正昭・梶川義実・梶田俊幸

JR化後の電車急行 (100~103ページ)……………大野秀一・井上英樹ほか

*

山陽線の電車急行……………写真:辻阪昭浩・今井和彦ほか… 30

電車急行ヘッドマークコレクション……………写真:福田静二ほか… 36

昔日のビュフェ情景……………写真:佐藤 博ほか… 44

私鉄に乗り入れた電車急行……………写真:太田 修・小西純一ほか… 46

国鉄急行形電車ラストステージ……………写真:加藤和毅ほか… 56

*

Pictorial Color Gallery 車窓の緑 遙かな夢……………飯塚 卓治… 97

[JR東海山梨リニア実験線超電導リニアL0系改良型試験
車を公開/JR東日本「ALFA-X」報道試乗会を開催ほか] 104~107

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………108

阿武隈急行 全線で運転再開……………渡邊裕太郎…116

2020年秋 相模鉄道の話……………構成:大里信之…117

製造100年を迎えた十勝鉄道の4号機……………持田 誠…118

連載・昭和の鉄景(第49回)……………椎橋 俊之…128

■本文

今月の話題:電車急行……………編集部… 9

国鉄急行列車 愛称板の興味……………青田 隆道… 10

1960~70年代 電車急行全盛時代の乗車記録……………山田 亮… 22

国鉄電車急行の乗務員運転時刻表 一北から南まで……………太田 正行… 50

国鉄~JR電車急行ピックアップ……………寺本 光照… 58

47-3改正から50-3改正における急行形直流電車の転配について

……………平石 大貴… 76

信州の急行形電車回顧 一国鉄分割民営前後の頃……………中村 剛… 89

*

鉄道の話……………編集部… 57

2021新年号特別企画 鉄道は畑を作れ!

経済アナリスト 森永卓郎さんが語る鉄道の魅力と今後

……………宇都宮浄人…120

書評(670)『昭和四十一年日本一周最果て鉄道旅』……………三木 理史…129

[新連載] 鉄道技術との60年① 一小田急との付き合い その1—

……………曾根 悟…130

JR北海道キハ261系5000代……………下田 恵輔…135

私鉄のキハ17系 概観[後編]……………服部 朗宏…142

幻の駅「神有耶馬」駅を探して……………米倉裕一郎…148

JR東日本京葉車両センターから205系が撤退……………日向 旭…152

DD51形 往年の運用表から(岡山編)……………三宅 俊彦…155

只見線で運用を開始したキハ110・キハE120形……………斎藤 幹雄…162

10月のメモ帳……………165

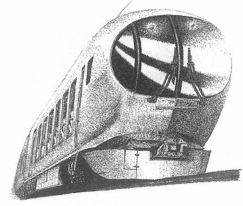
鉄道ピクトリアル2020年主要総目次……………166

読者短信・情報ファイル……………168

後部車から……………171

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット:山本茂樹

今月の話題

電車急行

1950(昭和25)年、東海道線に80系湘南電車がデビューし、本格的な電車による長距離運転の時代が到来することとなり、電車が都市間や観光輸送などを担う優等列車に進出していく。80系電車は1950年10月から東京と伊豆方面を結ぶ準急「あまぎ」に投入され、初の電車による優等列車となった。この後、1957年には東京—大垣間「東海」、名古屋と関西地区を結ぶ「北叡」も80系電車化された。1958年に東海道本線で電車特急「こだま」がデビューしたが、同時に誕生した153系電車は80系に代わり、電車準急の主役として、輸送需要が増加の一途であった東海道本線の都市間輸送を担った。当時の電車準急は列車によっては客車急行を凌ぐスピードで好評を博し、1960年6月には東京—大阪間で153系電車により初の定期運転の電車急行「せつっ」が登場した。

新幹線開業前の在来線輸送全盛期の東海道本線では夜行も入れて最大16往復の電車急行が活躍し、デラックスを誇った電車特急に対し、庶民の優等列車として輸送サービスに多大な役割を果たした。1960年代以降、幹線電化の進展とともに165系や交直流急行形電車の開発により電車急行は各地で多彩な活躍が見られるようになり、1970年代にその全盛期を迎える。その後、1980年代以降は社会の変化、新幹線の拡充などで、在来線列車の特急化や料金不要の快速化が進み急行列車は凋落が続いて、次第に姿を消していき、JR発足以降もわずかながら残ったものの、いつしか定期列車としての急行は皆無となった。しかし、電車急行の車両・運転の歴史をめぐる見所は、板状の愛称板の取付、近郊形を使った遜色急行などを含め、特急とは異なる、あるいは特急以上に鉄道興味の視点で面白味に富んでおり、そうした内容は記録として後世に伝えて行くべきである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan